

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0158
評価年度 令和 6年度
所属 1121
事務事業番号 01058

進捗区分 評価完了
環境部環境政策課
環境保全市民運動推進事業

所属長名 小高 弥須夫
記入者 高橋 直輝

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	015	自然環境の保全				
取組の方向性	001	琵琶湖を始めとする水環境の保全・再生				
事務事業	001	環境保全市民運動推進事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分		対象		
根拠法令等	大津市環境基本条例					
事業概要	(事業概要) 「琵琶湖を美しくする運動実践本部」が実施する琵琶湖市民清掃の支援、河川愛護団体に対する河川清掃用具の配付や情報提供等の活動、地域のヨシ保全事業の支援など、市民や事業者が自らの手で琵琶湖の美しさを保持するとともに快適な水辺環境の保全と創造が実現できるように市民運動の育成・支援を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 琵琶湖の保全をはじめ、地域の美化、環境保全につながる市民活動を支援することによる、市民・事業者・行政との協働の取り組みが求められている。また、コミュニティの希薄化や高齢化などにより、各種市民活動の参加者数は減少傾向にある。 (見直しや改善等の経過) 河川愛護事業については令和5年度より登録制に移行し、登録団体への支援体制を強化するとともに、令和6年度はホタルが生息する環境への取組みとして、守山市ほたるの森資料館館長を講師に招いた研修会を実施した。また、琵琶湖市民清掃における収集運搬作業の効率化等に伴い、令和6年度より1日開催に変更した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民や事業者などを対象として
目的(何のために)	琵琶湖の美しさを保持し、琵琶湖岸、河川、公園、道路などの美化や清掃を行うため
手段(どのようなやり方で)	琵琶湖市民清掃の実施を支援し、広報等を通じて「琵琶湖を美しくする運動」の啓発活動を行い、河川愛護団体結成を促し定期的な河川清掃等の河川愛護活動、及び各地域のヨシ保全団体の活動を支援することで
成果(どのような状態にするのか)	多くの市民、事業者の参加を得て琵琶湖岸、河川、公園、道路等の公共的な場所の美化が図られるとともに、河川を軸とした新たな流域コミュニティ（川すじコミュニティ）が形成される

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	31,629	29,168	29,466	29,466	29,466	29,466	29,466
事業費	14,993	14,730	16,666	16,666	16,666	16,666	16,666
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	6,348	5,685	6,663	6,663	6,663	6,663	6,663
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,645	9,045	10,003	10,003	10,003	10,003	10,003
人件費計	16,636	14,438	12,800	12,800	12,800	12,800	12,800
事務・技術（人）	2.10	1.81	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0158
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1121 環境部環境政策課
事務事業番号 01058 環境保全市民運動推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-37-21-00-01-00	環境保全市民運動推進費	環境部環境政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)琵琶湖市民清掃 実践本部加入団体数	団体	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
		122.00	122.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)河川清掃実施回 数	回	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		859.00	540.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)琵琶湖市民清掃 参加人数	人	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00
		52,587.00	25,939.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)河川清掃等参加 者数	人	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
		13,658.00	11,632.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		市民・事業者・行政の三者協働の観点から有意義である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		公共地の環境保全が図られている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		効率的に環境保全が図られている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		行政の支援が各団体の活動に寄与している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	琵琶湖市民清掃実践本部加入団体数及び河川愛護団体による清掃作業等の実施回数については目標を上回ったが、各々の参加者数は目標未達となっている。また、河川清掃実施回数は、前年度からは大幅に減少している。これらの要因として、令和6年度においては、市民等による環境保全活動が盛んな6、7月の暑さを含む天候に起因するものと考えているが、昨今、これら市民の環境保全活動を取り巻く環境は、温暖化や活動に携わる市民の高齢化など大きく変化してきており、ピーク時の参加者数からは減少する状況にある。引き続き、実施主体や関係者と課題を共有しながら、持続可能な市民活動の推進に向け、必要な対策を講じていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民が主体的に環境保全活動に取り組むことは、地域環境の保全意識の醸成のみならず、地域コミュニティの活性化への貢献も期待できる。一方で担い手の減少等の課題もあり、持続可能性を見据えた支援を継続していく。琵琶湖市民清掃については、これまでの課題と各地域の実情を実践本部とも共有しながら、事業の最適化に取り組んでいく。		

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1121	環境部環境政策課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01058	環境保全市民運動推進事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0159
評価年度 令和 6年度
所属 1121
事務事業番号 01150

進捗区分 評価完了
環境部環境政策課
環境企画推進事業

所属長名 小高 弥須夫
記入者 小野 顕大

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	031	地球温暖化対策の推進				
取組の方向性	002	再生可能エネルギー等の利活用の推進				
事務事業	001	環境企画推進事業				
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分		対象		
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、大津市環境基本条例					
事業概要	(事業概要) 大津市環境基本計画（第3次）に基づき、市民の省エネルギー推進のための各種事業や再生可能エネルギー普及の啓発等を実施する。また、市役所の事業活動に伴う環境負荷を低減するため、本市独自の環境マネジメントシステム（環境オームス）により取組を進める。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 国内の脱炭素社会への移行に向けた機運が高まる中で、国だけでなく地方自治体における地域脱炭素の推進が必要不可欠であり、省エネや地域の再エネを活用した施策等の加速化が求められている。 (見直しや改善等の経過) 大津市地球温暖化防止活動推進センターに温暖化対策普及啓発等の業務を委託することで、効率的・効果的な事業実施に努めた。また、令和5年度に策定した庁外市有施設のＥＳＣＯ事業によるＬＥＤ化計画に基づき、明日都浜大津や消防関係施設、幼稚園・保育園等でＬＥＤ化改修を開始した。加えて、「エコ移動」普及のためシェアサイクル実証事業を実施し、自家用自動車等からの転換による環境負荷の低減効果を検証している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、事業者、市民団体に
目的(何のために)	大津市環境基本計画（第3次）に掲げる取組を推進するため
手段(どのようなやり方で)	ホームページや広報紙等による省エネルギー及び再生可能エネルギーの啓発、市民等の省エネルギーへの取組の支援を行うとともに、市が率先して取組を実施することにより
成果(どのような状態にするのか)	市民等の地球環境保全に対する理解を深め、計画に掲げる各種取組を着実に推進する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	112,626	51,115	358,586	524,430	524,430	716,330	510,295
事業費	73,140	19,581	325,122	490,966	490,966	682,866	476,831
国庫支出金	18,266	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	29,000	0	277,200	421,400	421,400	594,100	408,700
その他	1,098	1,272	31,566	366	31,566	31,566	31,566
一般財源	24,776	18,309	16,356	69,200	38,000	57,200	36,565
人件費計	39,486	31,534	33,464	33,464	33,464	33,464	33,464
事務・技術（人）	4.40	2.93	3.13	3.13	3.13	3.13	3.13
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.30	0.60	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65
会計年度任用（人）	1.08	1.30	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0159
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1121 環境部環境政策課
事務事業番号 01150 環境企画推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-37-60-00-05-00	環境企画推進事業費	環境部環境政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)省エネルギー等 啓発回数	回	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		20.00	31.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)温室効果ガス削減 量（2013年度比）	%	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00
		31.13	31.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)エコライフデー の参加世帯数（累計）	世帯	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
		1,082.00	2,291.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	法により地方公共団体の責務とされているため				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	環境基本計画の目標設定に向けて着実に成果が上がっているため				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	事業の多くを委託により遂行し、効果も表れているため				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	継続的な普及啓発等により市民等の行動変容に寄与しているため				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント （400文字）	定量評価のうち、省エネルギー等の啓発については、従来の広報おおつへの掲載に加えてSNS等による周知回数を増加させた。エコライフデー参加世帯数については目標に向け増加傾向であるが、更に市民に興味を持ってもらう工夫を凝らし、効果的な普及啓発に努めていく。また、温室効果ガスの削減目標の達成に向けては、引き続き、国、県の動向を注視しながら、大津市環境基本計画（第3次）に基づき、市有施設の照明設備のLED化や再生可能エネルギーの活用等の取組を市が率先して実行していくとともに、大津市地球温暖化防止活動推進センターと連携した市民・事業者への普及啓発の取組の更なる拡大を図るなど、同計画の目標の達成及び2050年カーボンニュートラルの実現に向け有効な施策を検討し推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント （400文字）	「大津市環境基本計画（第3次）」に掲げる「2050年カーボンニュートラル」の実現を見据えて、引き続き地域脱炭素の推進に取り組む。また、市役所自らが市有施設の照明設備のLED化や省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの活用等を推進するとともに、庁内の推進体制の充実と行政活動におけるグリーントランスフォーメーションの進展を目指す。		

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1121	環境部環境政策課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01150	環境企画推進事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0160
評価年度令和 6年度
所属1121
事務事業番号01190

進捗区分
評価完了
環境部環境政策課
環境人育成事業

所属長名
記入者
小高 弥須夫
高橋 直輝

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	016	環境教育の推進				
取組の方向性	001	「環境人」の育成の推進				
事務事業	002	環境人育成事業				
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	環境基本法、環境教育等促進法					
事業概要	(事業概要) 環境問題に関心を持ち豊かで快適な環境を創造していく人を育成するために、子どもの自然体験学習を充実させる。子どもと親・家族が豊かな本市の自然に学び、自然を楽しむ体験型環境教育を展開し環境にやさしく生きる力を持った「環境人」を育むことを目的として次の事業を実施する。 ・自然家族事業 ・大津こども環境探偵団事業 ・指導者研修事業					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) これまでの本市の環境保全活動を率先してきた市民の高齢化や、若年世帯の増加、転入者の増加に比し、保全活動を行う市民の減少等が新たな課題となりつつある。一方、最新のアンケート調査では、琵琶湖をはじめ自然環境に魅力を感じる市民が多く、今後これら市民を「環境人」として育成し、課題に対応していく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 令和5年度より、指導者研修会において、実際の教育現場（幼稚園）での実践活動をスタートし、令和6年度は当活動の定着化を図った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	自然家族事業は子育て親子、こども環境探偵団事業は小学3年生～中学3年生、指導者研修事業は環境学習に携わる方を対象に
目的(何のために)	人間の社会活動と環境の関わりにおいて、市民一人ひとりが深い理解と認識を持ち、各自が環境に配慮した生活・行動ができる「環境人」の育成を目的として
手段(どのようなやり方で)	里、川、琵琶湖、山等のフィールドを利用した自然体験プログラムの実施（自然家族事業、大津こども環境探偵団事業、指導者研修事業）により
成果(どのような状態にするのか)	「環境人」を育成し、環境問題に関心がある人が多い社会をつくる ※環境人とは、高い環境意識を有し、主体的に環境に配慮した行動を実践する人

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,487	15,050	13,042	13,102	13,102	13,102	13,102
事業費	801	612	1,022	1,082	1,082	1,082	1,082
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	500	301	500	500	500	500	500
一般財源	301	311	522	582	582	582	582
人件費計	14,686	14,438	12,020	12,020	12,020	12,020	12,020
事務・技術（人）	1.85	1.81	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0160
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1121 環境部環境政策課
事務事業番号 01190 環境人育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-37-21-00-02-00	環境人育成事業費	環境部環境政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 自然家族事業 開催回数	回	8. 00	8. 00	8. 00	8. 00	8. 00	8. 00	8. 00
		8. 00	8. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(活動) 大津こども環 境探偵団環境学習回数	回数	4. 00	4. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00
		3. 00	4. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 自然家族事業 参加者数	人	400. 00	400. 00	400. 00	400. 00	400. 00	400. 00	400. 00
		259. 00	239. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 大津こども環 境探偵団卒団生数	人	2, 122. 00	2, 162. 00	2, 202. 00	2, 242. 00	2, 282. 00	2, 322. 00	2, 362. 00
		2, 137. 00	2, 188. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		環境教育等促進法に基づき当該事業は妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		事業アンケートの結果から、環境に関心を持つために有意義である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		関心を持たせられるように、適宜内容を見直している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		環境に関心を持ち、また配慮した行動ができる			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和5年度より、指導者研修会において、実際の教育現場（幼稚園）での実践活動をスタートし、令和6年度は当活動の定着化を図った。環境人を育成する各事業を推進していくため、大津市環境人育成推進懇話会において、今後も学識経験者等様々な分野の専門家の意見を参考に、刻々と変化する社会状況等に合った適格な事業を展開する。また、小中学生を対象とした大津こども環境探偵団事業については、指導者が不足傾向にある中、参加する子どもの低学年化も進んでおり、引き続き同懇話会や事業関係者と課題を共有し、効率的かつ効果的に事業を推進していく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	本事業が本市の環境保全活動の基盤を支えてきたことを踏まえつつ、大津市環境人育成推進懇話会を活用した学識経験者等からの意見を積極的に採り入れ、さらなる事業効果が得られるよう、事業内容の改善に取り組んでいく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1121	環境部環境政策課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01190	環境人育成事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0161
評価年度令和 6年度
所属1703
事務事業番号01023

進捗区分 評価完了
環境部廃棄物減量推進課
し尿処理事業推進事業

所属長名 古田 幸子
記入者 星田 真文

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	004	し尿処理事業推進事業				
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業概要	(事業概要) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市内から排出されるし尿と浄化槽汚泥を適正に処理する。 また、 1 6 箇所の公衆便所を市民等が清潔で快適に利用できるよう維持管理に努めている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) し尿・浄化槽汚泥は、下水道の普及に伴い収集量が減少し続けている。 (見直しや改善等の経過) 本市のし尿収集運搬事業は、一部地域を除いて許可制としてきたが、安定的とし尿収集運搬事業を継続するため、令和 4 年 1 月からのし尿処理施設の再編に合わせ全面委託化した。 また、受益者負担の適正化を図るべく、令和 7 年 4 月からし尿収集運搬手数料を改定した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民生活から排出されるし尿・浄化槽汚泥に対して
目的(何のために)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	し尿・浄化槽汚泥収集委託及び許可業者による収集運搬などの事業を推進して、適正処理を図ることにより
成果(どのような状態にするのか)	市民が快適な生活を送ることができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	146, 196	144, 537	159, 060	188, 232	188, 232	188, 232	188, 232
事業費	130, 008	127, 253	141, 776	170, 948	170, 948	170, 948	170, 948
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	59, 356	57, 113	75, 527	70, 760	70, 760	70, 760	70, 760
一般財源	70, 652	70, 140	66, 249	100, 188	100, 188	100, 188	100, 188
人件費計	16, 188	17, 284	17, 284	17, 284	17, 284	17, 284	17, 284
事務・技術 (人)	1. 78	1. 78	1. 78	1. 78	1. 78	1. 78	1. 78
技能労務 (人)	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
再任用 (人)	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
会計年度任用 (人)	0. 72	0. 85	0. 85	0. 85	0. 85	0. 85	0. 85
嘱託 (人)	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
臨時 (人)	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0161
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1703 環境部廃棄物減量推進課
事務事業番号 01023 し尿処理事業推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-21-00-10-00	し尿処理事業推進費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) し尿くみ取り・浄化槽人口	人	9,863.00	9,398.00	8,939.00	8,491.00	8,056.00	7,630.00	6,803.00
		10,660.00	10,414.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 公衆便所年間清掃回数	回／年	8,577.00	8,551.00	8,551.00	8,551.00	8,577.00	8,551.00	8,551.00
		8,600.00	8,577.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) し尿・浄化槽汚泥処理量	㎏／日	29.00	27.00	26.09	24.75	23.44	22.16	20.91
		30.50	30.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 公衆便所利用回数	回／日	4,125.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00
		4,100.00	3,710.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		し尿及び浄化槽汚泥の処理責任は市にある			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		廃棄物の適正な処理に努めることで生活環境保全につながっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		事業に精通した専門業者への委託事業として実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		市民の生活環境保全に関連が深く、目標達成に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	し尿収集運搬事業の委託化により円滑かつ安定的に事業の運営ができています。今後も計画通りに安定した事業運営を実施していく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	令和4年1月にし尿処理施設の再編を行い、令和7年4月にし尿汲み取り手数料の改定を行った。今後も、浄化槽の普及など他の取組みとも連携させながら生活環境の保全に努めていく。		

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1703	環境部廃棄物減量推進課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01023	し尿処理事業推進事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号
0162
評価年度
令和 6年度
所属
1703
事務事業番号
01153

進捗区分
評価完了
環境部廃棄物減量推進課
3 R推進事業

所属長名
古田 幸子
記入者
白井 智浩

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	001	ごみの減量と再資源化の推進				
事務事業	001	3 R推進事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分		対象		
根拠法令等	循環型社会形成推進基本法 廃棄物処理法 大津市補助金等交付規則等					
事業概要	(事業概要) 市民会議である「ごみ減量と資源再利用推進会議」と協働したイベント開催や啓発活動、リサイクルセンター木戸及び環境美化センターにおける体験教室、啓発事業の実施、集団資源回収の促進支援及び生ごみ処理機等の購入支援、刈り草剪定枝の堆肥化処理などにより、3 R（発生抑制、再使用、再生利用）を推進する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会や経済の発展に伴い、生活が豊かになり大量生産・大量消費型であった社会経済システムを循環型社会形成推進基本法や各種リサイクル法等に基づき、3 Rを推進する循環型社会に転換していく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 令和3年度から引き続き、家庭ごみの量は減少傾向にある。また、令和5年度から環境美化センターとリサイクルセンター木戸の2拠点で3 R推進の啓発に取り組んでいる。なお、リサイクルセンター木戸は、令和5年8月から指定管理者制度に移行し、管理運営している。令和6年度にはリサイクルセンター木戸の事業内容の拡充のため条例の一部を改正した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び事業所を対象にして
目的(何のために)	大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムから3 Rを推進する循環型社会への転換を図るため
手段(どのようなやり方で)	ごみ減量と資源再利用推進会議と協働したイベント開催や啓発活動、環境美化センター及びリサイクルセンター木戸での体験教室や啓発事業の実施、集団資源回収の促進支援及び生ごみ処理機等購入支援、刈り草剪定枝の堆肥化処理などにより
成果(どのような状態にするのか)	市内における3 R（ごみの発生抑制、不用品の再使用、再生利用）を推進する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	110,483	138,418	172,138	196,491	142,121	142,121	142,121
事業費	74,066	105,206	132,418	152,917	97,767	97,767	97,767
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	228	251	228	283	283	283	283
地方債	0	0	30,300	0	0	0	0
その他	31,389	35,325	33,090	12,870	12,870	12,870	12,870
一般財源	42,449	69,630	68,800	139,764	84,614	84,614	84,614
人件費計	36,417	33,212	39,720	43,574	44,354	44,354	44,354
事務・技術（人）	3.16	2.54	3.80	4.33	4.43	4.43	4.43
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	3.09	3.35	2.52	2.45	2.45	2.45	2.45
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0162
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1703 環境部廃棄物減量推進課
事務事業番号 01153 3 R推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-10-36-00-01-00	3 R推進事業費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 集団資源回収団体数	団体	660. 00	660. 00	660. 00	660. 00	660. 00	660. 00	660. 00
		602. 00	586. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(活動) 生ごみ処理機等補助金申請件数	件	55. 00	55. 00	55. 00	55. 00	55. 00	55. 00	55. 00
		153. 00	145. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 生ごみ排出量（燃やせるごみ）	t	59, 634. 00	59, 233. 00	58, 977. 00	58, 696. 00	58, 600. 00	58, 600. 00	58, 600. 00
		54, 229. 67	52, 788. 36	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		ごみ減会議等と協働して進めている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		計画目標を上回る達成率となった。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		ごみ減会議等と協働して進めている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		各種の啓発が、ごみの減量に繋がっている。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	ごみ量は、令和3年度から引き続き、4年連続の減少となった。一般廃棄物処理基本計画における目標値は、達成されているが、引き続きごみ減量を啓発していく必要がある。令和6年10月に容器包装プラスチックと製品プラスチックを一括で回収するモデル事業を実施したが、事業に参加した市民からは、一括回収に対して前向きな反応が多かった。今後は、資源化施設での対応について検討が必要となる。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	燃やせるごみの量は、継続して減少傾向を示している。生ごみ処理機等活用事業補助金の他、各種リサイクルや啓発が市民のごみ減量の推進に寄与していると考えられる。 今後、令和8年度の基本計画見直しに向けて、プラスチック資源循環促進法など、社会環境の変化を踏まえ有効な対策について検討を行うものとする。また、リサイクルセンター木戸を木戸さすてなプラザとしてリニューアルし、資源循環の取組をさらに進めていく。 あわせて、各取組みの推進にあたり重要となる市民理解を促すため、市民団体などとの緊密な連携に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1703 環境部廃棄物減量推進課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 01153 3 R 推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 集団資源回収団体数	団体	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00
		602.00	586.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	当該年度後期（7月～12月）実施団体数						
(活動) 生ごみ処理機等補助金申請件数	件	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
		153.00	145.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	過去5年の申請件数（生ごみ処理機＋コンポスト）						
(成果) ごみ排出量（燃やせるごみ）	t	59,634.00	59,233.00	58,977.00	58,696.00	58,600.00	58,600.00	58,600.00
		54,229.67	52,788.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	一般廃棄物処理基本計画に基づく目標値 R4～家庭系燃やせるごみ量						

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0163
評価年度令和 6年度
所属1703
事務事業番号01154

進捗区分 評価完了
環境部廃棄物減量推進課
廃棄物適正処理事業

所属長名 古田 幸子
記入者 東 寛之

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	001	ごみの減量と再資源化の推進				
事務事業	002	廃棄物適正処理事業				
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	廃棄物処理法、美化条例・規則					
事業概要	(事業概要) 家庭から排出される一般廃棄物のステーション方式での定期的な収集運搬による適正処分と市内の事業所から排出される一般廃棄物の適正な処理を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 家庭系ごみ量については継続して減少傾向であり、横ばい傾向にあった事業系ごみ量についても、令和6年度は減少傾向に転じている。また、プラスチック資源循環促進法などの廃棄物を取り巻く法制度が充実・変化している。 (見直しや改善等の経過) これまでから、ごみの分別収集の見直しや適正処理困難物の処理体制の整備などを行ってきており、令和6年度は7月よりリチウムイオン電池をびんの日に同時収集を開始させ、10月より家庭ごみの土曜収集の廃止を行っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民から排出される家庭ごみや事業系一般廃棄物を
目的(何のために)	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的に
手段(どのようなやり方で)	家庭ごみ収集運搬委託及び事業系一般廃棄物収集運搬許可業者による収集運搬を通して、廃棄物の適正処理を図ることにより
成果(どのような状態にするのか)	市民が快適な生活を送ることができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,343,824	1,324,857	1,371,085	1,412,935	1,400,985	1,400,985	1,400,985
事業費	1,283,456	1,266,065	1,318,293	1,354,255	1,344,255	1,344,255	1,344,255
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	61,921	71,209	61,966	61,246	61,246	61,246	61,246
一般財源	1,221,535	1,194,856	1,256,327	1,293,009	1,283,009	1,283,009	1,283,009
人件費計	60,368	58,792	52,792	58,680	56,730	56,730	56,730
事務・技術（人）	4.89	5.04	4.64	5.40	5.15	5.15	5.15
技能労務（人）	2.70	1.60	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.63	2.35	2.26	2.25	2.25	2.25	2.25
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0163
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1703 環境部廃棄物減量推進課
事務事業番号 01154 廃棄物適正処理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-02-00	廃棄物適正処理事業費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 定期収集日	日	310.00	283.00	257.00	257.00	257.00	257.00	257.00
		310.00	283.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 展開調査	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		10.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 取り漏れ等の苦情件数	件数	55.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		15.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 事業系ごみ量(臨時収集除く)	t	21,631.00	21,061.00	20,403.00	19,892.00	19,435.00	18,871.00	18,323.00
		22,027.00	21,171.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		廃棄物処理法において一般廃棄物の処理は市の責務であり妥当。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		廃棄物が適正に処理され、市民の生活環境の保全が図られている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		委託等により適正かつ効率的に収集運搬が実施できている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		家庭ごみの適正な収集運搬や事業者への指導等が実施できている。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き、市の責務である一般廃棄物の処理を適正かつ効率的に実施するため、法に規定する基準に則した処理及び委託を実施する。事業系ごみについては、令和7年7月からのマニフェスト制度の廃止後の状況を注視しながら、処理施設での展開調査の実施等により不適正排出の防止を図り、ごみ量の減量に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き、家庭ごみの適正処理のため、分別の徹底を啓発していく。特に、リチウムイオン電池などの火災の危険が伴う廃棄物については、収集及び処理の段階においての被害が発生していることから、具体的に分かりやすく示していく。 また、事業者に対しても、事業系ごみの適正処理及び減量の推進を啓発していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1703	環境部廃棄物減量推進課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01154	廃棄物適正処理事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0164
評価年度 令和 6年度
所属 1710
事務事業番号 01173
進捗区分 評価完了
環境部産業廃棄物対策課
廃棄物不適正処理対策事業

所属長名 神山 元伸
記入者 新田 紳一郎

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	003	不法投棄防止の推進				
事務事業	001	廃棄物不適正処理対策事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業概要	(事業概要) 地域住民と連携した監視パトロール、不法投棄等のおそれのある地域への警告看板等の設置、啓発チラシの配布による廃棄物の不適正処理の未然防止を図るとともに、廃棄物の不適正な管理や処理を行っているおそれのある行為者等に対し指導監督を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 家電、食品、建設など個別物品のリサイクル法が制定され、市民にも廃棄物の減量化や資源化に関する意識が定着してきたことで、人の目が届くようなまちなかや住宅地における不法投棄事案の発生は減少しつつある。しかし、人通りの少ない道路や山間部においては、依然として建築廃材や家庭ごみの不法投棄が多く発生している。(見直しや改善等の経過) 過去の不法投棄事案を集計し、その結果に基づき定期的に監視体制の見直し、警告看板の設置を行っている。また、十分に行政の監視が及ばない地域については、地域住民（不法投棄等監視員）の協力のもと未然防止を図っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	事業活動又は一般家庭から排出される廃棄物について、
目的(何のために)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るために、
手段(どのようなやり方で)	廃棄物が適正に処理されるよう監視、啓発を行うとともに、不適切な処理が確認された場合は処理責任者又は行為者に対し指導を行うことにより、
成果(どのような状態にするのか)	廃棄物が適正に処理され、生活環境が清潔になることで、生活環境が保全され、公衆衛生が向上する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	61,906	54,002	59,316	59,240	59,240	59,240	58,740
事業費	6,342	5,116	7,316	7,240	7,240	7,240	7,240
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	18	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,474	3,266	5,466	5,390	5,390	5,390	5,390
人件費計	55,564	48,886	52,000	52,000	52,000	52,000	51,500
事務・技術（人）	3.70	2.87	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50
技能労務（人）	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
再任用（人）	1.80	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
会計年度任用（人）	3.17	3.60	4.60	4.60	4.60	4.60	4.60
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0164
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1710 環境部産業廃棄物対策課
事務事業番号 01173 廃棄物不適正処理対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-07-05-00-10-00	廃棄物不適正処理対策事業費	環境部産業廃棄物対策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)職員によるパトロール実施日数	日	230.00	230.00	230.00	230.00	230.00	230.00	230.00
		244.00	233.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)不法投棄に係る市民要望の解決率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		95.99	91.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由		法の所管は市である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由		迅速に必要な対応を講じることで解決につながっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由		早期の発見に努めることで効率的に対策を講じることができている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由		廃棄物の不適正な処理を減らすことで循環型社会形成の推進に貢献			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	地域住民と連携した監視パトロールによる不法投棄の早期発見・早期対応及び不法投棄等のおそれのある地域への警告看板の設置等による啓発活動は、廃棄物の不適正処理の防止に有効であることから、引き続き事業の継続を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	廃棄物の不適正処理を防ぐため、地域住民と連携した監視パトロールや警告看板等の設置により未然防止に努めるとともに、廃棄物の不適正な管理や処理を行っているおそれのある事業者に対して、早期に指導を実施することが重要である。また、啓発チラシや不適正処理防止ポスターの配布を行うなど、引き続き、市民の意識向上に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1710	環境部産業廃棄物対策課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01173	廃棄物不適正処理対策事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0165
評価年度 令和 6年度
所属 1707
事務事業番号 01148

進捗区分 評価完了
環境部環境施設課
環境交流館管理運営事業

所属長名 梅野 博英
記入者 和田 圭司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし			
施策	032	循環型社会形成の推進			
取組の方向性	002	適正処理の推進			
事務事業	032	環境交流館管理運営事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市伊香立環境交流館条例				
事業概要	(事業概要) 廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした施設の管理運営を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民の意識の高揚を図るとともに、地域のコミュニティの活性化を図る場が求められている。 (見直しや改善等の経過) この施設は、令和7年度をもって、新たな市民センターの改築に合わせて集約化されることとなった。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象として
目的(何のために)	廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図るため
手段(どのようなやり方で)	コミュニティ活動のための場所を提供し、環境ポスター等による情報の提供と啓発を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	地域コミュニティが活性化し、更なる地域環境の向上に繋がる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	10,370	13,895	17,932	74,769	0	0	0
事業費	1,622	2,189	6,382	67,771	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	2,200	57,100	0	0	0
その他	1	4	3	0	0	0	0
一般財源	1,621	2,185	4,179	10,671	0	0	0
人件費計	8,748	11,706	11,550	6,998	0	0	0
事務・技術(人)	0.26	0.27	0.25	0.81	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	2.10	2.40	2.40	0.17	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0165
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1707 環境部環境施設課
事務事業番号 01148 環境交流館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-30-00-01-00	環境交流館管理運営事業費	環境部環境施設課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)開設日数	日	296.00	297.00	300.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		299.00	298.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用者数	人	6,500.00	6,500.00	6,500.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		10,625.00	9,737.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		廃棄物の減量に関し住民の自主的な活動の促進が図れている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		地域に認識され、利用者数は目標値を大きく超えている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		効率的な施設管理及び修繕に努めている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図る			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	廃棄物の減量化と循環型社会の啓発及び地域コミュニティの場として活発な利用が図られるよう、引き続き館内のポスター掲示やHP掲載等による周知を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	循環型社会の形成に係る市民意識の高揚と地域のまちづくりに貢献できる施設として、市民ニーズに合わせた運営に努めていることから、来館者数の目標値を上回ることができている。当該施設は、令和7年度をもって、市民センター改築に合わせて機能移転を行うものとしており、混乱なく円滑に移行できるよう適切な運営管理、他の機関との連携を図るものとする。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1707 環境部環境施設課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 01148 環境交流館管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)開設日数	日	296.00	297.00	300.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		299.00	298.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	伊香立環境交流館の開設日数						
(成果)利用者数	人	6,500.00	6,500.00	6,500.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		10,625.00	9,737.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	伊香立環境交流館の年間利用者数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0166
評価年度令和 6年度
所属1707
事務事業番号01164

進捗区分評価完了
環境部環境施設課
地区環境整備事業（北部クリーンセンター）

所属長名梅野 博英
記入者和田 圭司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	011	地区環境整備事業（北部クリーンセンター）				
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法					
事業概要	（事業概要） 大津市北部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、北部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、北部クリーンセンターの運営を行っている。施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 平成２５年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	伊香立学区自治連合会を対象として
目的(何のために)	北部クリーンセンターの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業や補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、北部クリーンセンターの円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	60,258	55,063	57,650	59,805	59,805	59,805	59,805
事業費	34,885	30,259	34,094	36,249	36,249	36,249	36,249
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	34,885	30,259	34,094	36,249	36,249	36,249	36,249
人件費計	25,373	24,804	23,556	23,556	23,556	23,556	23,556
事務・技術（人）	3.20	3.18	3.02	3.02	3.02	3.02	3.02
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0166
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1707 環境部環境施設課
事務事業番号 01164 地区環境整備事業（北部クリーンセンター）

【関連予算情報】	
予算事業	予算事業番号
01-20-10-20-26-00-01-00	地区環境整備事業費（北部クリーンセンター）
	環境部環境施設課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)事業補助数	件	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		43.00	41.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.25	1.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】	
評価項目	評価の観点
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か
	A 妥当である
	B ほぼ妥当である
	C あまり妥当ではない
	D 妥当ではない
2 有効性	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である
	A 上がっている
	B やや上がっている
	C あまり上がっていない
	D 上がっていない
3 効率性	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている
	事業手法は効率的であるか
	A 効率的である
	B やや効率的である
	C あまり効率的でない
4 施策への貢献度	優先順位の高いものから順に事業を実施している
	施策目標の達成に貢献しているか
	A 貢献している
	B やや貢献している
	C あまり貢献していない
	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している
【所属評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当
所属コメント (400文字)	事業の方向性
	現状維持
	施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。
	なお、令和6年度については、補助事業を中心に住民満足度を高めつつ、事業の効率化を図ることができた。

【部局評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当
部局コメント (400文字)	事業の方向性
	現状維持
	今後も、ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据え、補助制度の活用を中心として、地域住民の満足度を高める事業を推進し、地域のさらなる理解を得るとともに、市内全域の廃棄物処理行政の推進を図るものとする。

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1707	環境部環境施設課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01164	地区環境整備事業	(北部クリーンセンター)

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0167
評価年度令和 6年度
所属1707
事務事業番号01165

進捗区分評価完了
環境部環境施設課
地区環境整備事業（環境美化センター）

所属長名梅野 博英
記入者和田 圭司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし			
施策	032	循環型社会形成の推進			
取組の方向性	002	適正処理の推進			
事務事業	012	地区環境整備事業（環境美化センター）			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法				
事業概要	（事業概要） 大津市南部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、南部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、環境美化センターの操業を行っている。施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	富士見学区自治連合会を対象として
目的(何のために)	環境美化センターの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、環境美化センターの円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	46,906	48,649	51,274	53,675	53,675	53,675	53,675
事業費	34,013	36,247	39,496	41,897	41,897	41,897	41,897
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	34,013	36,247	39,496	41,897	41,897	41,897	41,897
人件費計	12,893	12,402	11,778	11,778	11,778	11,778	11,778
事務・技術（人）	1.60	1.59	1.51	1.51	1.51	1.51	1.51
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号0167
評価年度令和 6年度
所属1707
事務事業番号01165

進捗区分
評価完了
環境部環境施設課
地区環境整備事業（環境美化センター）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-26-00-04-00	地区環境整備事業費（環境美化センター）	環境部環境施設課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)事業補助数	件	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		2.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		0.99	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		事業実施により周辺地域住民から理解を得られている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		優先順位の高いものから順に事業を実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。 なお、令和6年度については、計画どおり補助事業が実施されたため、事業効率化指数は計画値どおりである。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	今後も、ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据え、補助制度の活用を中心として、地域住民の満足度を高める事業を推進し、地域のさらなる理解を得るとともに、市内全域の廃棄物処理行政の推進を図るものとする。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1707	環境部環境施設課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01165	地区環境整備事業	(環境美化センター)

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0168
評価年度令和 6年度
所属1707
事務事業番号01166

進捗区分評価完了
環境部環境施設課
地区環境整備事業（北部廃棄物最終処分場）

所属長名梅野 博英
記入者和田 圭司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし			
施策	032	循環型社会形成の推進			
取組の方向性	002	適正処理の推進			
事務事業	013	地区環境整備事業（北部廃棄物最終処分場）			
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法				
事業概要	（事業概要） 大津市北部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、北部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、北部廃棄物最終処分場の操業を行っている。施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	龍華自治会を対象として
目的(何のために)	北部廃棄物最終処分場の円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業や補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、北部廃棄物最終処分場の円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,785	7,915	7,564	7,869	7,869	7,869	7,869
事業費	4,266	5,809	5,614	5,919	5,919	5,919	5,919
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	1	1	1	1	1
一般財源	4,265	5,808	5,613	5,918	5,918	5,918	5,918
人件費計	2,519	2,106	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950
事務・技術（人）	0.27	0.27	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号0168
評価年度令和 6年度
所属1707
事務事業番号01166

進捗区分
環境部環境施設課
地区環境整備事業（北部廃棄物最終処分場）

評価完了

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-41-00-01-00	地区環境整備事業費（北部廃棄物最終処分場）	環境部環境施設課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)事業補助数	件	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		1.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		0.64	1.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		事業実施により周辺住民から理解が得られている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		優先順位の高いものから順に事業を実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。 なお、令和6年度については、補助事業を中心に住民満足度を高めつつ、事業の効率化を図ることができた。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	今後も、ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据え、補助制度の活用を中心として、地域住民の満足度を高める事業を推進し、地域のさらなる理解を得るとともに、市内全域の廃棄物処理行政の推進を図るものとする。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1707	環境部環境施設課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01166	地区環境整備事業（北部廃棄物最終処分場）	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0169
評価年度令和 6年度
所属1707
事務事業番号01169

進捗区分評価完了
環境部環境施設課
地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）

所属長名梅野 博英
記入者和田 圭司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	015	地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）				
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法					
事業概要	（事業概要） 大津市南部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、南部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、大田廃棄物最終処分場の操業を行っている。施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 平成２５年度に地区環境整備事業のあり方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大石学区自治連合会、曾束町自治会、小田原町自治会を対象として
目的(何のために)	大田廃棄物最終処分場の円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、大田廃棄物最終処分場の円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	41,457	39,744	82,359	43,274	58,274	83,274	43,274
事業費	18,190	16,968	60,753	19,718	34,718	59,718	19,718
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	18,190	16,968	60,753	19,718	34,718	59,718	19,718
人件費計	23,267	22,776	21,606	23,556	23,556	23,556	23,556
事務・技術（人）	2.93	2.92	2.77	3.02	3.02	3.02	3.02
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0169
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1707 環境部環境施設課
事務事業番号 01169 地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-41-00-09-00	地区環境整備事業費（大田廃棄物最終処分場）	環境部環境施設課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)事業補助数	件	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00
		16.00	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.34	1.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		事業実施により周辺地域住民から理解を得られている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		優先順位の高いものから順に事業を実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。また、令和6年度については、計画を上回って補助事業が実施されたため、事業効率化指数は計画値より高くなっている。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	今後も、ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据え、補助制度の活用を中心として、地域住民の満足度を高める事業を推進し、地域のさらなる理解を得るとともに、市内全域の廃棄物処理行政の推進を図るものとする。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1707	環境部環境施設課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01169	地区環境整備事業	(大田廃棄物最終処分場)

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0170
評価年度 令和 6年度
所属 1707
事務事業番号 01170

進捗区分 評価完了
環境部環境施設課
地区環境整備事業（衛生プラント）

所属長名 梅野 博英
記入者 和田 圭司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	016	地区環境整備事業（衛生プラント）				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分		対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法					
事業概要	（事業概要） 大津市で排出されるし尿を適正に収集し、処分することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図っている。施設が立地する地域では、し尿収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	小松学区自治連合会、田上学区自治連合会、堂町自治会、白百合自治会の市民を対象として
目的(何のために)	衛生プラントの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、衛生プラントの円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	3,656	3,606	3,450	3,450	3,450	3,450	3,450
事業費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
人件費計	2,156	2,106	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950
事務・技術（人）	0.26	0.27	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0170
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1707 環境部環境施設課
事務事業番号 01170 地区環境整備事業（衛生プラント）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-46-00-07-00	地区環境整備事業費（衛生プラント）	環境部環境施設課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)事業補助数	件	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		事業実施により周辺地域住民から理解を得られている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		優先順位の高いものから順に事業を実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	し尿処理施設の再編に伴い、南部衛生プラントについては令和3年度末で操業を終了している。それに伴い補助事業についても令和3年度末をもって終了しており、現在、当該施設の跡地利用について地元と協議を進めている。また、志賀衛生プラントへの搬入量の増加に伴い、小松学区自治連合会と覚書を交換し、令和4年度から地区環境整備事業を実施している。 なお、令和6年度については、計画どおり補助事業が実施されたため、事業効率化指数は計画値どおりである。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	し尿処理施設の集約化を目的に、南部衛生プラントは令和3年度に操業を終了し、これに伴う関連事業も終了したところであり、現在プラント施設を解体除却した後の有益な利活用について地域と協議を進めている。 また志賀衛生プラントの操業に伴う小松学区に対しては、し尿処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据え、振興補助を通じて、地域住民の満足度を高める取組を支援し、地域のさらなる理解を得るとともに、市内全域のし尿処理行政の推進を図るものとする。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1707	環境部環境施設課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01170	地区環境整備事業	(衛生プラント)

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0171
評価年度 令和 6年度
所属 1702
事務事業番号 01175

進捗区分 評価完了
環境部環境美化センター
環境美化センター管理運営事業

所属長名 原田 浩二
記入者 田中 瑛司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	017	環境美化センター管理運営事業				
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分		対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法					
事業概要	（事業概要） 20年間に及ぶ運営委託契約を踏まえ、特別目的会社による環境美化センター焼却施設・リサイクル施設の運営業務の履行状況を確認するため、市職員による定期並び随時のモニタリングを実施し、処理施設が持つ能力が適切に発揮され、大津市南部地域から発生する燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみの適正かつ円滑な処理及び、かん、びん、ペットボトルの資源化が図られるよう、特別目的会社に対する適正な運営管理上の指導監督を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） ごみ処理事業は、市民生活と直結しているため市民の関心も高く、排ガス基準を遵守しながら施設を稼働させており、その重要性は大きい。並行して、ごみの分別・減量を推進することが社会的に求められている。 （これまでの見直し） DBO方式（公共が資金調達し、民間事業者に設計・施工・運営を一括して委託する方式）で整備を進めてきたごみ処理施設整備事業について、令和5年3月に環境美化センターを構成する全ての施設が完成した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	家庭から排出される燃やせるごみ、大型ごみほか及び事業系一般廃棄物の燃やせるごみ、大型ごみを
目的(何のために)	大津市環境美化センターに搬入されるごみの適正かつ円滑な処理及び資源化を実現するため
手段(どのようなやり方で)	焼却施設及びリサイクル施設の適正な運転で、規制基準や協定値を遵守し
成果(どのような状態にするのか)	安全かつ安定した運転操業を実施し、大津市南部区域から発生する一般廃棄物の適正な処理を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	357,954	365,691	416,516	415,158	415,158	415,938	415,938
事業費	337,774	351,971	399,286	397,928	397,928	397,928	397,928
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	289,408	277,062	294,941	277,062	277,062	277,062	277,062
一般財源	48,366	74,909	104,345	120,866	120,866	120,866	120,866
人件費計	20,180	13,720	17,230	17,230	17,230	18,010	18,010
事務・技術（人）	2.30	1.40	1.85	1.85	1.85	1.95	1.95
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0171
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1702 環境部環境美化センター
事務事業番号 01175 環境美化センター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-71-00-01-00	環境美化センター管理運営事業費	環境部環境美化センター

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)月次モニタリング会議実施回数	回	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00
		12. 00	12. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(活動)焼却施設実稼働率	%	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		100. 34	100. 35	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果)ごみ発電による電力使用率	%	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		96. 99	96. 44	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果)資源ごみの処分率	%	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		100. 98	102. 15	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由	廃棄物処理法において一般廃棄物の処理が市町村の責務である。				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由	計画どおり適正に安定してゴミ処理及び再資源化を図っている。				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由	特別目的会社の管理運営により効率よく安定した操業ができた。				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由	円滑なゴミ処理を継続することで、ごみの適正処理に貢献した。				
	評価理由					

【所属評価結果】		総合評価		計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)		環境美化センターは、市民生活の維持に必要な不可欠なインフラであり、クリーンで快適な生活環境を保持するため、処理施設が持つ能力が適切に発揮し、一般廃棄物の適正かつ円滑な処理並びに資源化が図られるよう、特別目的会社に対する適正な運営管理上の指導監督をこれまでどおり行っていく。令和6年度は、運営業務の履行状況を確認するため、市職員による定期及び随時のモニタリングを適切に実施し、焼却施設及びリサイクル施設の安全かつ安定した操業を図ることができた。				

【部局評価結果】		総合評価		計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)		市民生活に欠かせない施設であり、常に自ら設定した基準を遵守しつつ適正に操業することを基本的な目標としてきたが、ごみ焼却時に発生する熱を利用し計画的な発電による場内使用率並びに実稼働率からも明らかのように1年間の業務成果としては適正であったと評価している。 今後も、運営業務の履行状況の評価のためにモニタリングを実施し、適正な運営管理上の必要な執行管理・指導を運営事業者に行うほか、啓発施設の活用と施設見学者への対応を通じて、処理施設だからこそ担えるごみの減量や資源再利用意識の普及啓発を推進する。				

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1702	環境部環境美化センター	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01175	環境美化センター管理運営事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0172
評価年度 令和 6年度
所属 1702
事務事業番号 01176
進捗区分 評価完了
環境部環境美化センター
不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業

所属長名 原田 浩二
記入者 林 豊治

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	018	不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法、水質汚濁防止法					
事業概要	（事業概要） 南部不燃物処分地は昭和 5 7 年 7 月から昭和 6 2 年 6 月まで、第二南部不燃物処分地は平成元年 6 月から平成 6 年 7 月まで埋立処分を行い、その後も浸出水処理施設の運転、維持管理に努めており、両処分地ともに浸出水の水質は、法令上の維持管理基準は満たし安定している。また、引き続き水質や発生ガスの調査を行い適切な維持管理を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 埋立処分は終了し、廃止に向けて適切に維持管理を行う必要がある。 （これまでの見直し） 浸出水処理施設の整備補修を適宜行い、維持管理に努め浸出水を安全に処理してきた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	南部・第二南部不燃物浸出水処理施設について
目的(何のために)	不燃物処分地からの浸出水（汚水）を適正に処理するため
手段(どのようなやり方で)	浸出水処理施設の設備機器の点検、及び整備を計画的に実施し
成果(どのような状態にするのか)	施設の安定運転操業を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	18,671	16,965	17,005	17,003	17,003	17,003	17,003
事業費	12,601	11,295	10,945	10,943	10,943	10,943	10,943
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	12,601	11,295	10,945	10,943	10,943	10,943	10,943
人件費計	6,070	5,670	6,060	6,060	6,060	6,060	6,060
事務・技術（人）	0.55	0.55	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
会計年度任用（人）	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号0172
評価年度令和 6年度
所属1702
事務事業番号01176

進捗区分 評価完了
環境部環境美化センター
不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-04-00	南部不燃物処分地管理費	環境部環境美化センター

【定量評価】

指標名		単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)水質検査回数		回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
			4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)発生ガス検査回数		回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)水質基準値遵守率（COD・南部）		%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)水質基準値遵守率（COD・第二南部）		%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	廃棄物処理法において一般廃棄物の処理が市町村の責務である。				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	放流水（処理水）の排出基準を満足している。				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	施設の運転管理は安定した操業ができた。				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	効率的に安定処理の向上が図れている。				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （400文字）	放流水及び浸出水の水質については廃止基準に収まっているものの、未だに埋立地からのガス発生量が廃止基準に収まっていないため、引き続き監視するとともに、適切な維持管理に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （400文字）	南部不燃物処分地におけるガス発生状況、水質の変化（推移）を把握しながら、施設の廃止を見据えて、適切な維持管理を続ける。		

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1702	環境部環境美化センター	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01176	不燃物処分事業	南部不燃物処分地管理事業

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0173
評価年度 令和 6年度
所属 1702
事務事業番号 01177

進捗区分 評価完了
環境部環境美化センター
大田廃棄物最終処分場管理事業

所属長名 原田 浩二
記入者 林 豊治

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	019	大田廃棄物最終処分場管理事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法、水質汚濁防止法					
事業概要	（事業概要） 環境美化センターからの焼却灰、リサイクル施設からの破碎不燃物などを適正かつ円滑に埋立処分を行い、また埋立地から発生する浸出水を適正に処理する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 埋立搬入物や処理水の水質などは、法律及び地元との協定を遵守し適正処理を行っている。また、定期的に地元に対して搬入状況及び水質関係等結果の報告を行っている。 （これまでの見直し） 埋立物に起因する浸出水の水質変化に対応するため、水処理施設の全ての工程を稼働させ、適切な薬剤の添加や生物処理槽の安定化を図ることで、浸出水の適正処理を行っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	焼却灰、破碎不燃物及び持ち込みの燃やせないごみを受け入れ、埋立処分場から発生する浸出水の処理等を
目的(何のために)	焼却灰等不燃性一般廃棄物を適正に最終処分し、良好な水環境を保つため
手段(どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、埋立処分及び浸出水処理施設の適切な運転管理を実施し
成果(どのような状態にするのか)	①衛生的で安全な埋立処分②放流水（処理水）の水質基準値の遵守を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	82,971	83,475	98,418	95,206	95,206	95,596	95,596
事業費	68,691	69,215	82,598	79,386	79,386	79,386	79,386
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	207	244	290	290	290	290	290
一般財源	68,484	68,971	82,308	79,096	79,096	79,096	79,096
人件費計	14,280	14,260	15,820	15,820	15,820	16,210	16,210
事務・技術（人）	1.00	0.90	1.10	1.10	1.10	1.15	1.15
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
会計年度任用（人）	0.60	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0173
 評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
 所属 1702 環境部環境美化センター
 事務事業番号 01177 大田廃棄物最終処分場管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-06-00	大田廃棄物最終処分場管理費	環境部環境美化センター

【定量評価】

		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)水質検査回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)水質基準値遵守率（COD）	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		廃棄物処理法において一般廃棄物の処理が市町村の責務である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		適正に埋立処分し、排水（放流水）は環境保全協定値を満足する。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		民間事業者の運転管理により効率よく安定した操業ができた。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		効率的に安定処理の向上が図れている。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （400文字）	埋立地（第1期、第2期）について、引き続き維持管理基準に基づき埋立処分を行う。また、汚水処理施設の適正な運転管理に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （400文字）	最終処分場の構造基準、維持管理基準に従い、適正な運営管理を続けるとともに、浸出水の水質（推移）を把握しながら、必要に応じて、課題の把握と有効な対策について協議を行うものとする。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1702 環境部環境美化センター
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 01177 大田廃棄物最終処分場管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)水質検査回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	浸出水及び処理水中のCOD、窒素等の年間測定回数						
(成果)水質基準値遵守率 (COD)	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	処理水中のCOD基準値＝20mg／l						

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0174
評価年度 令和 6年度
所属 1702
事務事業番号 02217

進捗区分 評価完了
環境部環境美化センター
中町淀町最終処分場管理運営事業

所属長名 原田 浩二
記入者 浜崎 亨

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	025	中町淀町最終処分場管理運営事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法、水質汚濁防止法					
事業概要	（事業概要） 大石中町廃棄物最終処分場及び大石淀町廃棄物最終処分場から発生する浸出水を水処理施設で安全に処理する。また、環境保全協定書に基づき最終処分場及び周辺の生活環境の保全に努める。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 大石中町廃棄物最終処分場は平成10年度末、大石淀町廃棄物最終処分場は平成25年度末をもって埋立処分が終了し、現在、各施設において浸出水の適正処理を行っている。また、大石淀町廃棄物最終処分場は表層利用として大津大石淀グラウンド・ゴルフ場が令和6年6月に供用された。 （これまでの見直し） 大石中町廃棄物最終処分場については、処理施設に流入する浸出水の水質が改善され良好な状態となっていることから、令和7年度に廃止の手続きを行う。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	最終処分場から発生する浸出水について
目的(何のために)	最終処分場水処理施設を適正に維持管理するため
手段(どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、浸出水処理施設の適正な運転管理を実施し
成果(どのような状態にするのか)	放流水（処理水）の環境保全協定値の遵守及び埋立地を含めた周辺の環境美化に努める

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	56,749	62,711	67,189	68,518	68,518	68,908	68,908
事業費	52,273	57,231	60,929	62,258	62,258	62,258	62,258
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	52,273	57,231	60,929	62,258	62,258	62,258	62,258
人件費計	4,476	5,480	6,260	6,260	6,260	6,650	6,650
事務・技術（人）	0.50	0.50	0.60	0.60	0.60	0.65	0.65
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
会計年度任用（人）	0.18	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0174
 評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
 所属 1702 環境部環境美化センター
 事務事業番号 02217 中町淀町最終処分場管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-11-00	中町淀町最終処分場管理運営事業費	環境部環境美化センター

【定量評価】

指標名		単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)水質検査回数	回		12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
			12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)COD、窒素等の水質基準値遵守率	%		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)排水中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		廃棄物処理法において一般廃棄物の処理は市町村の責務である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		処理水の水質が環境保全協定値を満足している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		運転管理業務を民間委託することにより効率的に操業できた。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		安定した水処理施設の運転により周辺の環境美化に貢献できた。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	大石中町污水处理施設は、浸出水の水質が改善していることから、大石中町廃棄物最終処分場の廃止の手続きを進める。大石淀町廃棄物最終処分場は、引き続き污水处理施設の適正な運転管理に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	いずれの施設も浸出水処理施設を適正に運転管理することにより、基準値を下回る水質を保持することができた。中町最終処分場の浸出水は、既に施設の廃止基準を下回る水準にあり、今年度施設の廃止の手続きを行う。廃止が確認されたのち、浸出水処理施設の解体撤去工事を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1702	環境部環境美化センター	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	02217	中町淀町最終処分場管理運営事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0175
評価年度 令和 6年度
所属 1708
事務事業番号 01180

進捗区分 評価完了
環境部北部クリーンセンター
北部クリーンセンター管理運営事業

所属長名 北崎 祐慈
記入者 中野 高佳

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	021	北部クリーンセンター管理運営事業				
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃掃法、容り法、ダイオキシン類特措法、プラスチック資源循環促進法					
事業概要	（事業概要） 琵琶湖疏水以北で発生する燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみについて民間事業者（SPC）が運営する大津市北部クリーンセンター焼却施設・リサイクル施設に対して、それらの履行状況を確認するため、定期及び随時モニタリング等の適正な運営管理上の指導監督を行うとともに、大津市が直接運営する市内全域のプラスチック製容器包装類の受入を行う同容器資源化施設の管理を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） ごみ処理事業は市民生活と直結しており、市民の関心も高く、排ガス基準を遵守しながら施設を稼働させる重要性は大きい。並行して、ごみの分別・減量を推進することが社会的に求められている。 （見直しや改善等の経過） 民間事業者による運営管理を行っている新施設は、ごみ焼却時に発生する熱利用による発電を行い、これを売却することにより、事業者への委託費用を低減できる仕組みとしている。（ただし、ごみ量が減少すれば発電量も減少し、委託料が増える要因になる。）					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	家庭から排出される一般廃棄物及び事業系一般廃棄物を
目的(何のために)	北部クリーンセンターに搬入されるごみを適正かつ円滑な処理及び資源化を実現するため
手段(どのようなやり方で)	焼却施設、リサイクル施設及びプラスチック容器資源化施設の適正な運転で、規制基準や協定値を遵守し、
成果(どのような状態にするのか)	安全かつ安定した運転操業を実施し、琵琶湖疏水以北で発生する一般廃棄物の適正な処理を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	511,607	544,865	559,465	598,526	597,617	603,415	603,501
事業費	497,957	527,341	544,623	583,684	582,775	588,573	588,659
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	167,966	238,079	256,574	220,272	217,272	217,272	217,272
一般財源	329,991	289,262	288,049	363,412	365,503	371,301	371,387
人件費計	13,650	17,524	14,842	14,842	14,842	14,842	14,842
事務・技術（人）	1.75	1.60	1.39	1.39	1.39	1.39	1.39
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.42	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0175
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1708 環境部北部クリーンセンター
事務事業番号 01180 北部クリーンセンター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-71-00-02-00	北部クリーンセンター管理運営事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】

		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 月次モニタリング会議実施回数	回	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00
		12. 00	12. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(活動) 焼却施設実稼働率	%	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		97. 06	97. 91	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 排ガス中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		100. 00	100. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 飛灰処理物のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		100. 00	100. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		廃棄物関連の法律を遵守し、一般廃棄物を適正に処理できている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		計画通りごみ処理し、排ガス等の規制基準はすべて遵守できている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		施設の運営は技術力がある民間業者へ委託し効率化が図れている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		ごみの適正処理で循環型社会の形成に寄与している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	北部クリーンセンターは、市民生活の維持に必要な不可欠なインフラであり、クリーンで快適な生活環境を保持するため、処理施設が持つ能力が適切に発揮し、一般廃棄物の適正かつ円滑な処理並びに資源化が図られるよう、特別目的会社に対する適正な運営管理上の指導監督をこれまでどおり行っていく。令和6年度は、運営業務の履行状況を確認するため、市職員による定期及び随時のモニタリングを適切に実施し、焼却施設及びリサイクル施設の安全かつ安定した操業を図ることができた。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民生活に欠かせない施設であり、常に自ら設定した基準を遵守しつつ適正に操業することを基本的な目標としてきたが、ごみ焼却時に発生する熱を利用し計画的な発電による場内使用率並びに実稼働率からも明らかのように1年間の業務成果としては適正であったと評価している。 今後も、運営業務の履行状況を評価するためにモニタリングを実施し、適正な運営管理上の必要な執行管理・指導を運営事業者に行うほか、啓発施設の活用と施設見学者への対応を通じて、処理施設だからこそ担えるごみの減量や資源再利用意識の普及啓発を推進する。		

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1708	環境部北部クリーンセンター	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01180	北部クリーンセンター管理運営事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0176
評価年度 令和 6年度
所属 1708
事務事業番号 01181

進捗区分 評価完了
環境部北部クリーンセンター
北部廃棄物最終処分場管理運営事業

所属長名 北崎 祐慈
記入者 川村 与志治

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	022	北部廃棄物最終処分場管理運営事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道法					
事業概要	（事業概要） 北部クリーンセンターから排出される焼却灰、飛灰処理物、破碎不燃物及び琵琶湖疏水以北から排出される持ち込みの燃やせないごみの適正かつ円滑な埋立処分を行う。また、処分場から発生する浸出水を水処理施設で安全に処理するための適正な施設管理を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 今日までの「ごみ減量施策」の実施により、ごみ量は減少してきているが、埋立残余年数も短くなってきていることから、さらなる延命化が求められる。 （見直しや改善等の経過） 令和元年からの土堰堤工事築造について、高さを変更（2. 5m→1. 25m）し、ごみの埋立枠を増加させ、さらには、令和5年度からフェニックスへの搬出量を1, 500tから3, 000tに見直し、現処分場の延命化にかかる対策を講じている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	焼却灰、飛灰処理物、破碎不燃物（破碎処理残渣）及び持ち込みの燃やせないごみを
目的(何のために)	北部最終処分場に搬入される一般廃棄物及び焼却灰等を適正かつ円滑に処理するため
手段(どのようなやり方で)	①最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づく埋立処分及び浸出水処理施設の適正な運転管理で、 ②水質等の規制基準を遵守し
成果(どのような状態にするのか)	①清潔で安全な埋立処分を実施し、 ②放流水（処理水）の水質基準値を遵守する

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	58,890	69,330	56,176	56,919	56,919	56,919	56,919
事業費	37,808	47,136	38,660	39,403	39,403	39,403	39,403
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	339	238	201	205	205	205	205
一般財源	37,469	46,898	38,459	39,198	39,198	39,198	39,198
人件費計	21,082	22,194	17,516	17,516	17,516	17,516	17,516
事務・技術（人）	1.25	1.21	1.22	1.22	1.22	1.22	1.22
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	1.00	0.42	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.76	2.58	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号0176
評価年度令和 6年度
所属1708
事務事業番号01181

進捗区分 評価完了
環境部北部クリーンセンター
北部廃棄物最終処分場管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-07-00	北部廃棄物最終処分場管理運営事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 焼却灰、破碎不燃物等の埋立量	m ³	3,000.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	3,800.00	3,800.00	3,800.00
		1,490.88	1,414.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 水質検査実施回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 放流水の下水道排除基準遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 放流水のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由		一般廃棄物を適正に処理することは、市町村の責務である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由		廃棄物を計画的に埋立処分し、放流水も排出基準を満足している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由		地域の環境保全に万全を期しながら効率的な運営管理に努めている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由		廃棄物を計画的に埋立処分し、ごみの適正処理に貢献している。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	廃棄物処理法に基づく維持管理基準を遵守するとともに、周辺環境に影響を及ぼすことのないよう適切な水質検査を徹底する。現処分場の延命化を図るため、引き続き大阪湾フェニックス埋立処分地への搬入量の確保に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	残容量を見据えながら土堰堤の築造を計画的に行い、適正かつ効率的な処分場の運営管理を続けるとともに、公共下水道の排水基準を遵守できるよう、浸出水処理施設の運転管理を行うものとする。		

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1708	環境部北部クリーンセンター	
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
事務事業番号	01181	北部廃棄物最終処分場管理運営事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号	0177	進捗区分	評価完了	所属長名	北崎 祐慈
評価年度	令和 6年度	環境部北部クリーンセンター		記入者	森本 和也
所属	1708	美化清掃事業			
事務事業番号	02622				

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし			
施策	032	循環型社会形成の推進			
取組の方向性	002	適正処理の推進			
事務事業	027	美化清掃事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市廃棄物の処理及び再利用の促進並びに環境の美化に関する条例				
事業概要	(事業概要) 自治会や各種団体等による美化活動に伴うごみの収集、小・中学校、支所等に設置されている使用済廃乾電池回収箱からの乾電池収集、犬・猫等動物死体の収集業務（委託）、刈草剪定枝の堆肥化により生じた堆肥の市内3か所の配布場所への運搬等を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 自治会等による美化活動の実施に伴う環境保全意識の向上や、道路上の動物死体等発見時の迅速な通報など、市内の美観保持を行うための市民意識の高まりがある。 (見直しや改善等の経過) 職員自らが主体的に担ってきたごみ収集業務について外部委託化を進めてきた一方で、地域の美化活動のほか、地域におけるごみをめぐる課題についてきめ細かく対応するため、人員と車両の配置を行い、直営での収集が可能な体制を整えてきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	美化活動等に伴うごみ、廃乾電池の資源ごみ、また、動物の死体を
目的(何のために)	生活環境の美化及びごみの減量・再資源化を図るため
手段(どのようなやり方で)	収集係職員及び委託業者（動物死体に限る。）が、じん芥収集車等で迅速に収集を行い
成果(どのような状態にするのか)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努め、環境保全を図る。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		47,262	49,102	48,609	57,139	57,139	57,139	57,139
事業費		12,992	13,298	14,087	22,617	22,617	22,617	22,617
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	612	374	665	374	374	374	374
	一般財源	12,380	12,924	13,422	22,243	22,243	22,243	22,243
人件費計		34,270	35,804	34,522	34,522	34,522	34,522	34,522
	事務・技術（人）	0.50	0.50	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38
	技能労務（人）	3.24	3.58	2.54	2.54	2.54	2.54	2.54
	再任用（人）	1.50	0.75	1.82	1.82	1.82	1.82	1.82
	会計年度任用（人）	0.44	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0177
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1708 環境部北部クリーンセンター
事務事業番号 02622 美化清掃事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-05-00	美化清掃事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 美化活動に伴うごみ等の直営収集量	t	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		163.00	176.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 動物死体の収集数	体	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		973.00	829.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 収集応需率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	廃棄物処理法を順守し、市が主体となり事業に取り組んでいる				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	収集依頼に速やかに対応することにより、環境保全に貢献している				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	業務に応じて民間委託と直営事業に区分けできている				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	環境保全、市民サービスの両面から貢献度の高い事業である				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	生活環境の美化や公衆衛生の保全の観点から、動物死体の収集依頼等については連絡を受けた当日に対応を行い、地域住民が積極的に美化活動を行い集積されるごみの収集に対しては、できるだけ希望日に対応してきた。結果として指標に定める目標値(収集量・数)に対する実績値には達していないものの、収集応需率は100%と対応はできている。引き続きごみの収集量や動物死体の収集数の推移や情報を分析し、市民サービスの低下がないよう事業効果が向上する取組を模索する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上のため、引き続き、きめ細やかで迅速な収集対応により市民サービスの充実と向上に努め、事業のより円滑な推進を図っていく。また、環境整備員の人員数と業務量を見据え、持続可能な取組となるよう、一部業務の外部委託化なども検討していく必要がある。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1708	環境部北部クリーンセンター	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	02622	美化清掃事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0178
評価年度令和 6年度
所属1708
事務事業番号04191

進捗区分 評価完了
環境部北部クリーンセンター
資源物等適正処理事業

所属長名 北崎 祐慈
記入者 森本 和也

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	001	ごみの減量と再資源化の推進				
事務事業	003	資源物等適正処理事業				
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物処理法、美化条例・施行規則					
事業概要	市内から排出される一般廃棄物を中間処理施設等において資源化等を実施することにより、適正な処理に資するものとする。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会や経済の発展に伴い、生活が豊かになり大量生産・大量消費型であった社会経済システムを循環型社会形成推進基本法や各種リサイクル法等に基づき、3Rを推進する循環型社会に転換していく必要がある。 (見直しや改善等の経過) ペットボトルの水平リサイクル実証実験として、令和5年度より一部の施設において独自処理再生事業者への引渡しを行った。令和7年度からは全施設において独自処理再生事業者への引渡しを行う。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	中間処理施設に搬入される一般廃棄物を
目的(何のために)	リサイクルを推進する循環型社会への転換を図るために
手段(どのようなやり方で)	民間事業者等への委託等により
成果(どのような状態にするのか)	個々の廃棄物に応じた効率的で確実な処理体制が確保される。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	21,609	19,446	19,272	19,835	19,835	19,835	19,835
事業費	10,279	10,177	10,798	11,361	11,361	11,361	11,361
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	10,279	10,177	10,798	11,361	11,361	11,361	11,361
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	11,330	9,269	8,474	8,474	8,474	8,474	8,474
事務・技術 (人)	0.58	0.58	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47
技能労務 (人)	0.67	0.33	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34
再任用 (人)	0.33	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17
会計年度任用 (人)	0.22	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
嘱託 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0178
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1708 環境部北部クリーンセンター
事務事業番号 04191 資源物等適正処理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-03-00	資源物等適正処理事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)再商品化引渡数量	Kg	2, 145, 636. 00	2, 145, 636. 00	1, 785, 636. 00	1, 785, 636. 00	1, 785, 636. 00	1, 785, 636. 00	1, 785, 636. 00
		2, 059, 322. 00	1, 997, 785. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(活動)独自処理の再生事業者によるペットボトル再商品化数量	Kg	344, 364. 00	344, 364. 00	704, 364. 00	704, 364. 00	704, 364. 00	704, 364. 00	704, 364. 00
		320, 360. 00	336, 800. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果)プラスチック製容器包装ペットボトルペール品質検査結果	%	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		100. 00	100. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	各種リサイクル法を厳守し、一般廃棄物を適正に処理している				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	再資源化が適正になされている				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	再商品化ルートの一部見直しにより収入の向上も図れている				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	リサイクルすることにより、資源物等の適正処理が行えている				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	本市中間処理施設等に搬入されている一般廃棄物は適正な形で処理ができています。今般各種リサイクル法の適正な運用方針の中に、3R政策の積極的な推進、家電などを含めた個別リサイクル法の適正な執行・普及啓発、プラスチック資源循環の重要性の高まりを受けたプラスチック資源循環促進法の施行にともなう、資源循環の取組推進が示されている。これをもとに、今後本市中間処理施設における資源物等の処理は、社会を取り巻く環境や関係法令の整備等も含め総合的に判断し、時代の流れに合致したより適正な処理を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	中間処理施設に持ち込まれる一般廃棄物は、サーキュラーエコノミーの考え方を基に、可能なものについては再資源化を行うことなど、環境に配慮した資源物の適正処理を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1708 環境部北部クリーンセンター
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 04191 資源物等適正処理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)再商品化引渡数量	Kg	2,145,636.00	2,145,636.00	1,785,636.00	1,785,636.00	1,785,636.00	1,785,636.00	1,785,636.00
	指標説明	2,059,322.00	1,997,785.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
容器包装等廃棄物は、容器包装リサイクル法の基本方針にて適切な処理を行える者に円滑な引渡しが求められるため、同法で指定している容器包装リサイクル協会に引き渡しを行うことにより再商品化を行っている。								
(活動)独自処理の再生事業者によるペットボトル再商品化数量	Kg	344,364.00	344,364.00	704,364.00	704,364.00	704,364.00	704,364.00	704,364.00
	指標説明	320,360.00	336,800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
当該事業者による再商品化を行うことにより、CO2削減や当センターにおける業務効率及びリサイクル率の向上等の効果が期待できる。								
(成果)プラスチック製容器包装ペットボトルペール品質検査結果	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
容器包装リサイクル協会は、プラスチック容器包装、ペットボトルについては年に1回のペール品質検査を義務づけており、その評価をA、B、Dで行っている。よってこの検査結果Aを100%の成果とする。								

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0179
評価年度令和 6年度
所属1711
事務事業番号01024

進捗区分評価完了
環境部衛生プラント
衛生処理場運転管理事業

所属長名野口 渡
記入者平野 晋也

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	005	衛生処理場運転管理事業				
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業概要	(事業概要) 市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上、維持に努める。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	下水道の普及に伴い、市内で発生するし尿及び浄化槽汚泥の量は減少傾向にあるものの、生活排水処理基本計画における予測値（目標値）に対して実績値が上回っており、見込みほどし尿等の発生量が減少していない状況にあることから、施設の安全かつ安定した運転は必須であり、引き続き維持されなければならない。このことから、令和4年度に衛生プラント長寿命化総合計画を策定し、主要機器の更新や故障を未然に防ぐ予防整備を計画的に行うこととした。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を
目的(何のために)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持するため、
手段(どのようなやり方で)	適切に維持管理が行われている衛生プラント（し尿処理施設）で、安全かつ安定した運転、処理することで、
成果(どのような状態にするのか)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持が確保できている。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	221, 429	211, 419	242, 176	243, 749	243, 749	243, 749	243, 749
事業費	206, 913	195, 719	226, 476	228, 049	228, 049	228, 049	228, 049
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	206, 913	195, 719	226, 476	228, 049	228, 049	228, 049	228, 049
人件費計	14, 516	15, 700	15, 700	15, 700	15, 700	15, 700	15, 700
事務・技術（人）	1. 50	1. 50	1. 50	1. 50	1. 50	1. 50	1. 50
技能労務（人）	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
再任用（人）	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
会計年度任用（人）	0. 88	1. 00	1. 00	1. 00	1. 00	1. 00	1. 00
嘱託（人）	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
臨時（人）	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0179
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 1711 環境部衛生プラント
事務事業番号 01024 衛生処理場運転管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-46-00-04-00	衛生処理場運転管理事業費	環境部衛生プラント

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)し尿・浄化槽汚泥搬入量（1日当り）	k l /日	28. 87	27. 47	26. 10	24. 75	23. 45	22. 16	20. 91
		30. 39	30. 31	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(活動)汚泥焼却灰処分量	t /年	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00
		9. 95	8. 45	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果)放流水の水質（BOD）（管理目標値以下の達成度）	%	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		100. 00	100. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果)放流水の水質（T-N）（管理目標値以下の達成度）	%	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		100. 00	100. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】		基準		評価	
評価項目		評価の観点			
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由		市町村の責務であるため		
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由		環境負荷の低減に寄与した		
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由		運転管理等を委託にて実施し、コストの縮減を図っている		
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由		生活環境の保全と公衆衛生の向上維持に貢献した		
	評価理由				

【所属評価結果】				
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持	
所属コメント （400文字）	大津市全体のし尿及び浄化槽汚泥の発生量は減少傾向にあるものの、見込みを超えて依然高止まりしている。また、南部衛生プラントの廃止に伴い、志賀及び北部衛生プラントのし尿等の処理量は増加しており、施設の重要度は増している。このことから、施設の維持管理を適切に行うため、令和4年度に策定した大津市衛生プラント長寿命化総合計画を確実に実行するとともに、今後も引き続き運転管理を適切に行うことにより、安全かつ安定した運転、処理を可能とするよう取り組んでいく。			

【部局評価結果】				
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持	
部局コメント （400文字）	し尿処理施設からの放流水の水質は自ら設定している基準値を満足し、適正な運営管理を保つことができた。一方で、市内のし尿・浄化槽汚泥の発生量は減少基調にあるものの、搬入量の水準は目標値を上回っており、引き続き、現有のし尿処理施設の操業が欠かせないことは明らかである。については、施設の老朽化が進んでいることを踏まえ、令和4年度に策定した長寿命化総合計画を計画的に推進し、し尿処理をめぐる生活環境の保全と公衆衛生の保持に努める。			

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	1711	環境部衛生プラント	
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
事務事業番号	01024	衛生処理場運転管理事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]